

# CSTからの原子炉注水系統の 設置工事範囲・時期の見直し

2012年12月3日  
東京電力株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力株

## 1. はじめに

1

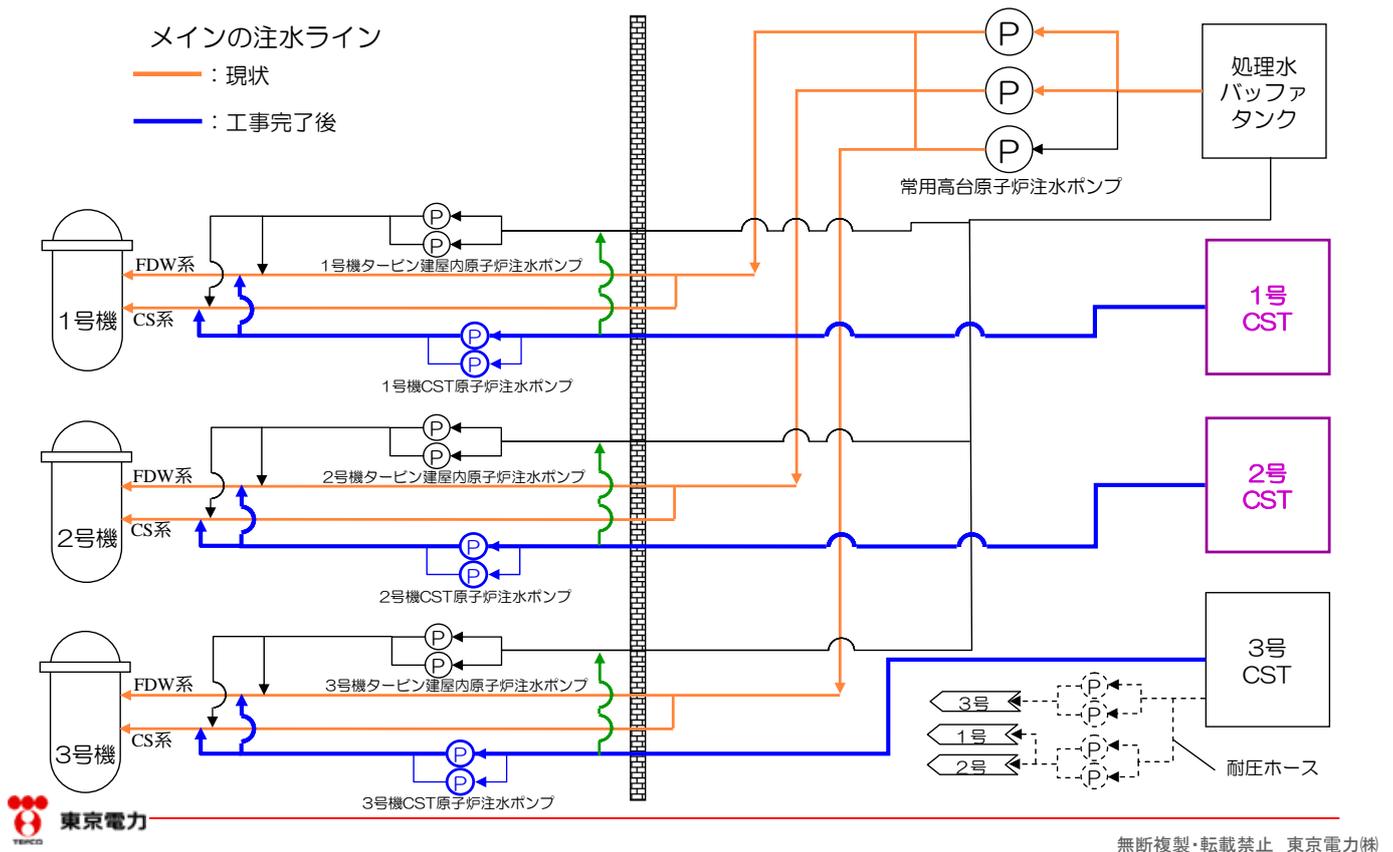
- 原子炉注水系統については、信頼性向上の観点から、主水源の変更（処理水バッファタンク→復水貯蔵タンク（CST））を計画している。
- CSTからの原子炉注水系統は、3号機CSTから各プラントへ供給するシステムが現状でも設置済であり、当初は当該システムの耐圧ホースをポリエチレン管（以下、PE管という）に変更する工事のみを計画していた。
- しかしながらCSTからの原子炉注水系統は、今後も長期的な使用が見込まれることから、実施内容について大幅な見直しを行い、更なる設備信頼性向上を図ることとした。
- これに伴い、当初12月末を予定していた工事期間を年度末（2013年3月末）に見直すこととした。



無断複製・転載禁止 東京電力株

## 2. 現状と工事完了後の原子炉注水系統

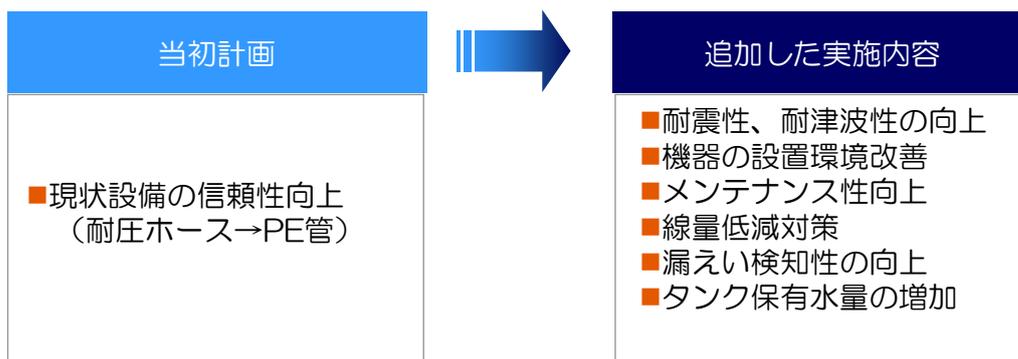
2



## 3. 当初計画からの変更点

3

■CST原子炉注水設備の当初計画から追加した実施内容は以下のとおり。



■また、具体的な工事内容は、当初耐圧ホースからPE管への変更のみとしていたが、上記を踏まえ、以下の工事を追加することで計画。

- ✓設置設備の耐震性の向上
- ✓耐津波対策用の簡易トレンチ設置
- ✓ポンプ設置位置の変更（屋外→屋内）、ポンプ室の設置
- ✓各号機同一仕様の系統構成機器の設置（運転性、メンテナンス性向上）
- ✓免震重要棟での遠隔操作化（ポンプ起動、流量調整）
- ✓配管等の機器周辺の堰設置及び漏えい検知器の設置
- ✓1/2号機CST復旧



- CS系への注水ライン設置
- 免震重要棟での流量調整（遠隔操作化）

1、2号機CSTの点検・復旧

